

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第23号 平成25年8月10日

少ないチャンスも打線が貧打！！

野球の一つの基本は捕球です！

	1	2	3	4	5	6	7	R
S	3	2	1	0	1	0		7
G	1	0	0	0	0	1		2



8/10(土) Victoria予選リーグを今川公園野球場に向き、サンタリンクスと戦った。チーム名は変われど、過去2度対戦しているが、未だ勝利した事が無い。しかし、決勝進出には、何とかしなければならない今日のゲームである。そのマウンドを任せられたのが、好投はするが、結果が付いてこない光希がマウンドに上がり、プレイボールとなった。先頭打者に3球目を弾かれセンターへの飛球を何とかグラブに当てるも、内野安打で出塁を許す。次打者の2球目にPBで早くもスコアリングポジションに走者を背負う展開、結果この打者は投ゴロに斬り一死、3番には、打ち取ったと思った打球をセンターが落球、これで、無死一・三塁、更に後続の初球をまたもやPBで、何とも言い難い内容で失点してしまった。動揺したのか次打者には、四球で出塁を許し、無死満塁と依然ピンチから脱せず。そして、次打者を投ゴロに打ち取ったが、これが野選と失策。次打者は三振に斬り二死とするが、後続には、押し出しの四球で二点目、次打者には、三遊間を抜かれ三点目を失い初回を終えた。この裏の攻撃、哲也が死球で出塁、その後二盗を決める。智は、右方向にぎっちり三塁へ走者を進める。そして打席には光希が入る。2ボールとなった3球目をスイング、打球はボテボテの投ゴロ、この打球にサードランナー哲也がホームを目指し疾走、間髪ホームインし、無安打で1点を返した。そして、期待が掛かる4番が打席に入ったが、バットの先っぽに当たった打球がハーフライナー、この打球に光希が戻れず、DPで同点へのチャンスを逸してしまった。翌2回、先頭を見逃し三振に斬ったが、次打者の三ゴロをサード捕球出来ず、次打者には、レフト前に運ばれ、そして、またもや次打者の時にPBで一死二・三塁と失点シーンへ。ここで、前進守備を引いた野手の頭上を越され、4点目を失点。更に次打者には、二ゴロの間にホームインされ5点目。翌3回にも、安打と四球で溜めた走者を送球エラーで6点目の失点、5回には、3連続安打で7点目を失点した。4回には、三番光希が安打で出塁、5番緑川が死球により出塁し、二死一・二塁と得点シーンを作ったが、一・二塁間を抜けたかと思っただ、一塁手に捕球され残塁、6回には、先頭智が安打で出塁、その後二盗を決める。しかし、後続2打者が連続三振に倒れたが、緑川が初球をセンター前に運び何とか2点目を得たが、またもや打線が繋がらず、残塁とし結果、この後時間切れでゲームセットとなり、今日のゲームを敗戦とした。

振り返ってみると、やはり今日のゲームが序盤の無駄な5失点が最後まで響いた。野球は、捕る・投げる・打つ・走る、これを組み合わせて得点を奪、失点を防ぐゲームであるが、残念ながら、今日はそれが出来なかった。暑いのはお互い様なので、それは、今日の要因にはならない。相手失策は投手間の内容を交えても1に対し、我がチームは8、これは何もせず2点を与えている事になる。厳しい戦いになれば成程、やはり確実にアウトにしなければ、勝利は遠い未来の彼方に行ってしまうだろう。まだまだ、後半戦は残っている。この悪い流れを各人意識しながら、ゲームの中で軌道修正をし、勝利を目指そう。また、今日は暑さ故、相手チームに比べて、守備からの攻撃へのイニングの変わりに入る、ベンチでの出来事にも差を感じた。相手チームは、打席に入る打者に声を掛けていたが、我がチームは、自身の喉の渇きを癒したり、休憩するのに、主眼を置いているのでは？と感じた。こんなところもチーム一丸になれず、勝利に見放されたのかも知れない。どんな時でも体調管理は、しっかりと！やろう・・・